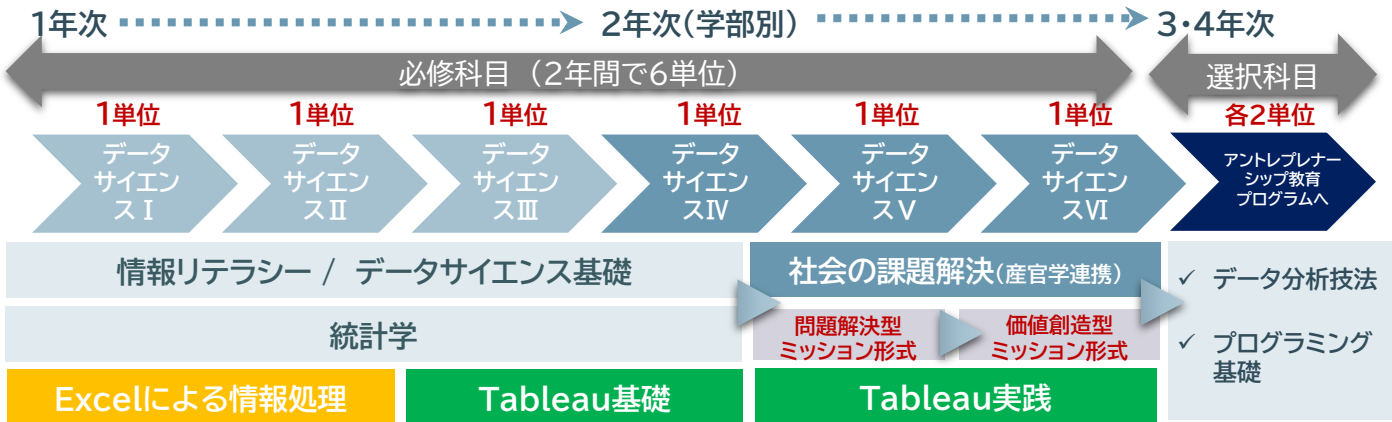


# 大正大学 データサイエンス教育プログラム

## 『学修成果の可視化と学生の成長』

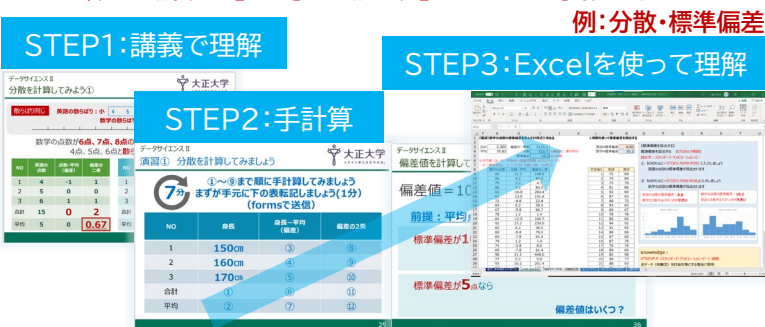
### 1. データサイエンス教目標育と教育プログラムの流れ

【データサイエンス教育プログラムでの教育目標】  
主観的な判断ではなく、データをもとに意思決定を行うデータドリブンな思考を高め社会の課題を解決し、価値を創造していく人材となる



### 2. 分かりやすさと反復学修

～「頭で理解する」と「手を動かす」のセットで学修の流れ～



### 3. チームティーチングでの教育



### 4. 実データ・実課題を活用したリアリティのある学修

| 2年生 学部別 産官学連携 | R5 産学連携先                                 | R5 DSV 「問題解決型」ミッション内容と提供データ   | R5 DSVI 「課題解決型」ミッション内容と提供データ   |
|---------------|--|---|--|
| 心理社会学部        | キリンホールディングスヘルスサイエンス事業<br>よろこびが広がる世界へ<br> | サプリメントの「iMUSE」3つの商品のうち、今後注力すべき商品は何か、その理由も含めてターゲットを明確にし、拡売策を提案する(顧客ごとのLTVデータ)                  | iMUSEサプリメントを効率的に販売するために、費用対効果の高いマーケティング投資で、継続的に購入いただけるお客様を増やすため各商品をそれぞれのターゲット顧客と具体的な施策を提案する。(顧客ごとのLTVデータ/市場浸透度アンケート調査)   |
| 表現学部          | ガモールマルシェソフトバンク(株) ニューラルグループ(株)<br>       | 大正大学ガモールマルシェにおける購買データと顧客属性を分析し、結果をもとに販売数向上を目的とした施策について提案する(販売POSデータ/店舗の陳列棚情報)                 | 大正大学の運営するガモールマルシェにおける販売数向上を目的とし、POSデータを含む複数データを活用した分析結果をもとに示唆を見出し、施策を提案する(販売POSデータ/購入者の属性データ/AIサイネージ視聴履歴データ/店舗内外カメラによる人流データ)                                   |
| 地域創生学部 社会共生学部 | 三鷹市企画部 企画経営課<br>緑と水の公園都市<br>             | 市政に対する総合的な満足度と関連する要因を可視化した上で、その満足度を高めることにつながる課題を抽出し、あわせてその課題解決策を提案する(第5次三鷹市基本計画策定に向けた市民満足度調査) | 三鷹市の政策課題からテーマを選び、2019年・2022年に実施した調査をもとにし、さらにオープンデータも活用して、現状と課題を多面的に明らかにする。その上で、新しい価値創造につながる具体的な解決策を提案する(第8期介護予防・日常生活圏域ニーズ調査/第5次三鷹市基本計画策定に向けた市民満足度調査)           |
| 文学部 仏教学部      | (株)サイゼリヤ<br>                             | 東西のサラダをはじめとした野菜料理の売れ方を分析し、もっと野菜をおいしく食べていただくためのアイデアを提案する(サラダのPOSデータ/客数・組数データ/販売価格マスタ)          | コロナ禍後、外食へのお客さまが変わってきていると言われていいる。販売データと合わせてオープンデータ等も活用し何がサイゼリヤの売上を伸ばす要因なのか分析し、「ディナーの売上」を伸ばすための課題の発見と、新しい価値を創造できる解決策を提案する。(全メニューのPOSデータ/客数・組数データ/販売価格マスタ/シートデータ) |

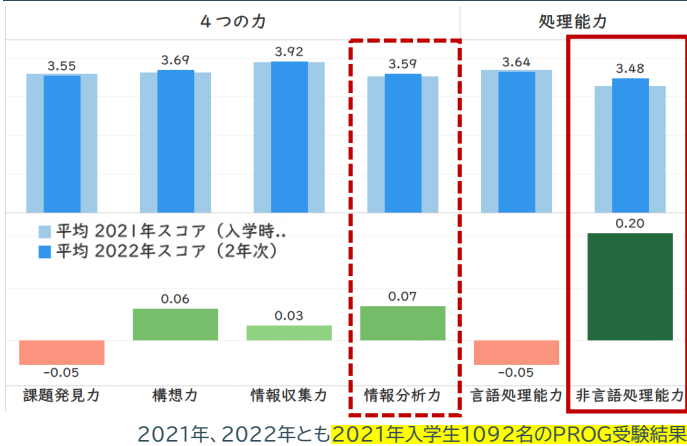


本プログラムは文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム(リテラシーレベル)」に申請し、「MDASH Literacy」および「MDASH Literacy+」に選定されました。(認定有効期限:令和9年3月31日)

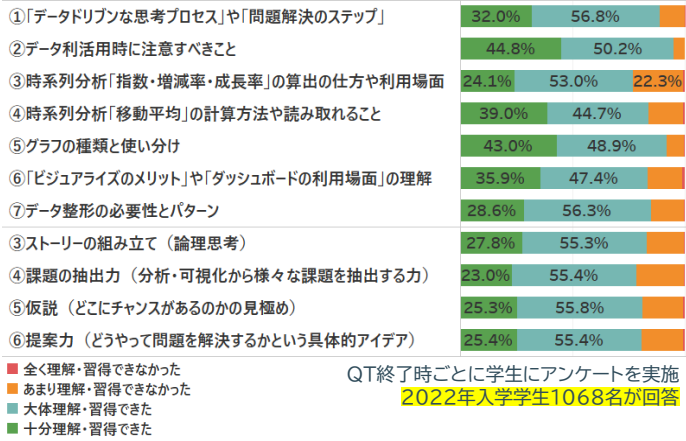
# 『学修成果の可視化と学生の成長』

## 5. 学修成果(正課) 学生の自己評価結果は授業改善に繋げている

### R4 2年生 1年次との比較(PROG リテラシー)

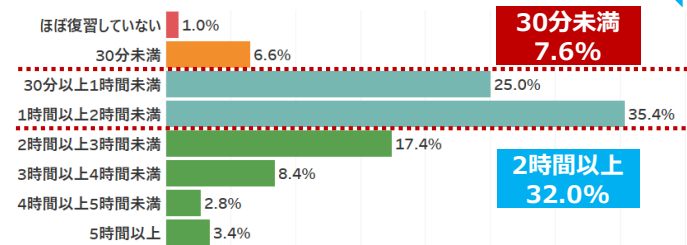


### R5 2年 春学期 知識理解・活用力(学生自己評価)

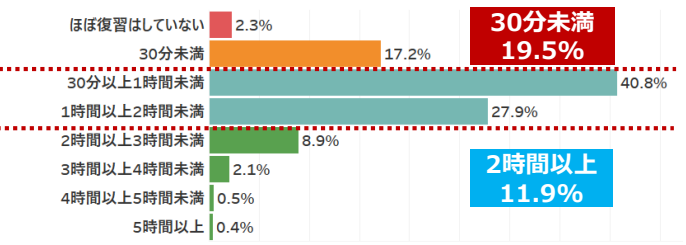


## R5 テスト対策の自主学修時間の変化 (対象:2年生 1年次との比較:春学期で比較、学生自己評価)

### 2年次 春学期 自主学修時間 (2023年4月~7月)



### 1年次 春学期 自主学修時間 (2022年4月~7月)



QT終了時ごとに学生にアンケートを実施。2022年入学生1068名が回答

※( )内 左:受講者に対する合格率  
右:受験者に対する合格率

## 6. DS特別プログラムでの資格取得実績(正課外)

| 名称                         | 令和4年度 夏       | 令和4年度 春       | 令和5年度 夏       |
|----------------------------|---------------|---------------|---------------|
| Tableau Desktop Specialist | 10名(56%/100%) | 18名(72%/100%) | 54名(65%/100%) |
| 統計検定4級                     | 17名(39%/77%)  | 22名(71%/92%)  | 21名(53%/91%)  |
| MOS Excel 一般               | 58名(62%/97%)  | 82名(73%/98%)  | 89名(63%/97%)  |
| MOS Excel 上級               | 未開講           | 未開講           | 31名(65%/97%)  |
| Total合格者数(延べ数)             | 85名(55%/92%)  | 122名(73%/97%) | 195名(62%/97%) |

## 7. 学生たちの学外での活躍(正課外)

令和3年度

公共政策学科の2年生(現4年)の有志学生が三鷹市の「学生によるミタカ・ミライ研究アワード2021」で「優秀賞・市長賞」を獲得



令和4年度

公共政策学科の2年生(現3年)の有志学生が三鷹市の「学生によるミタカ・ミライ研究アワード2022」で「優秀賞」を獲得



3年生のSA(現4年)の有志学生2チームが「企業分析AWARD 2022」に参加 1チームが「優勝」



令和5年度

tableauのアカデミックアンバサダー3年生が選抜(国内大学生4名中1名)

